multibook セキュリティホワイトペーパー

1.2 版

株式会社マルチブック

1 データ保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、AWS のシンガポールリージョン及び東京リージョンに保管されます。

2 暗号化の状況

- ログイン認証で用いるパスワードは、不可逆暗号化(ハッシュ化)された状態で、データベースに保管されます。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、SSL 通信(SHA256)によって暗号化されます。
- お客様のデータを保存するデータベースは AWS により暗号化されています。

3 バックアップの状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報は、日次でマシンのイメージバックアップを取得しています。バックアップは、7 世代分保管されます。
- バックアップデータは AWS のシンガポールリージョンにて、限定されたアクセス権のもとで管理されます。
- 但し、お客様によるバックアップデータの復元等に関する要望は、承っておりません。

4 ログのクロックに関する情報

- サービス内で提供されるログは、タイムゾーン UTC で提供されます。
- ログの時間は、AWS が提供する NTP サービスと同期しています。

5 脆弱性管理に関する情報

- 当開発チームは、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

6 開発におけるセキュリティ情報

- サービス開発には、業界標準のガイドラインを参考に、社内で開発方針を定め、実施しています。

7 インシデント発生時の対応

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止等)が発生した場合は、インシデントを検知してから 2 時間以内を目標に、「更新情報」にて情報を掲載します。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、弊社へのお問い合わせもしくは、サービス購入元より受け付けています。

8 お客様データの保護について

- ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、一部の人間しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。
- マルチブックで管理している物理的な装置はありません。装置の破棄及び再利用については AWS の方針に従って実施されます。

9 認証

- 株式会社マルチブックは、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS 認証¹及び ISMS クラウドセキュリティ認証²を取得しています。

¹ <https://isms.jp/lst/ind/>

² <https://isms.jp/isms-clt/lst/ind/>

10 外部クラウドサービスの利用

- multibook では、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

クラウドサービス	機能	運営会社	情報	データ保管場所
SendGrid	メール送信	SendGrid	メールアドレス、氏名、伝票情報	米国
GCP	翻訳	Google	翻訳対象データ	—
Robota	AI OCR	ファーストアカウント ディング株式会社	会計仮伝票に添付された請求 書画像データ	—

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2022年7月1日	初版発行
1.1	2022年9月1日	「1 データの保管場所」に東京リージョンを追加
1.2	2025年3月31日	「2 暗号化の状況」に以下を追加 「保存するデータベースはAWSにより暗号化されています。」
		「10 外部クラウドサービスの利用」に「Robota」及び「データ保管場所」を追加
		「9 認証」にあったISMSクラウドセキュリティ認証の「取得準備中です」から「取得しています」へ変更